

平成28年度名古屋市障害者福祉施策関係予算の概要

平成28年度予算額及び対前年度伸び率

区 分	26年度	27年度	28年度	
一般会計	3.1%	1.4%	1.2%	1,085,601,000 千円
健康福祉予算	8.8%	0.6%	3.7%	474,426,489 千円
健康福祉費	9.6%	▲1.2%	3.8%	323,063,233 千円
子ども青少年費	6.9%	4.9%	3.6%	151,363,256 千円
障害福祉関係	14.2%	1.9%	5.0%	77,011,443 千円

主な障害福祉部関係予算（精神分野抜粋）

事 項	予算額(千円)	概 要
障害者差別解消の推進	39,016	障害者差別相談センターの設置運営、障害者差別解消支援地域協議会の開催、啓発事業を行う。
第5期障害福祉計画の策定調査	11,632	障害者の生活状況や施策のニーズ・要望等を把握し、第5期障害者福祉計画及び第4次障害者基本計画策定等の基礎資料とするための調査を行う。
福祉特別乗車券のICカード化	2,894	平成28年11月に、福祉特別乗車券を磁気カードからICカードに切り替える。
引きこもり対策の充実	9,458	引きこもりサポーターの養成、派遣等を行い、引きこもり対策関連事業の充実を図る。
福祉都市化環境指針の改定	15,000	障害者差別解消法等の社会情勢の変化を踏まえて、指針の見直しを行う。(27～28年度)
移動支援の報酬単価の改定	2,173,192	慢性的な人材不足に対応するため、利用者の多い短時間利用の報酬単価を増額し、長時間利用の報酬単価を減額する。
障害者グループホームの運営費補助金の対象拡大	249,228	障害者グループホームに対する運営費補助金の対象を知的障害者のみからすべての障害者に拡大する。
就労支援の促進	116,492	精神障害者を対象とした嘱託員を1人増員するとともに、企業の障害者雇用に対する意識啓発を図るための障害者雇用企業見学会を新たに実施する。

強迫性障害、認知行動療法のポイントは？ - 厚労省が治療者用マニュアル公開

「手に付いた汚れで病気になる」と心配して過剰に洗ったり、「閉め忘れて大惨事になる」とガスの元栓を何度も確かめたりするといった強迫性障害（強迫症）の治療方法などをまとめた認知行動療法マニュアル（治療者用）を、厚生労働省がホームページで公開した。強迫性障害についてマニュアルでは「100人に1～4人が経験する」と珍しい病気ではないことを説明。有効性が確立されている認知行動療法で症状を改善させる方法を示している。強迫性障害は、不安や不快にさせる考えやイメージを抱く「強迫観念」と嫌な考えを打ち消して安心感を得るために行う「強迫行為」で構成される「強迫症状」によって、日常生活や社会生活に障害を来す病気。例えば、「病気になることを心配」（強迫観念）して、汚いと思う物を触った後、「何度も手を洗う」（強迫行為）が安心できず、かなりの時間を手洗いに費やすといったことが強迫症状に該当するという。

